

平成28年11月8日
産業政策課 国際展開G
担当者：山出・湊
TEL：076-225-1509
内線：4427/4429

イタリア・食科学大学学生の知事表敬について

1. 日程

平成28年11月9日(水)13:00～13:30

2. 場所

知事室

3. 来訪者

マテウス・スボルギア氏（スイーツシェフ、ブラジル出身）

ヨニ・ニムロッド氏（フードジャーナリスト、イスラエル出身）

4. 来県目的

昨年10月の知事訪欧時に、スローフード協会・パオロ事務局長等と現地で懇談した中で、知事から提案のあったもの。今後、食分野での活躍が見込まれる食科学大学の学生を県内食関係企業に受け入れ、本県の食・食文化への理解を図る。

（参考）食科学大学について

食に特化した世界初の大学として、2004年10月にスローフード協会が発起人となって設立されたイタリア政府公認の私立大学。食品・飲料製造の実践的理論のほか、食品の味覚・嗅覚に関する研究、食に関する法律、ワイン史、経営史など多岐にわたり、食の分野に関する幅広い知識を網羅的に習得する。

※添付資料：来訪者略歴

【来訪者略歴】

マテウス・スボルギア (Matheus Sborgia) 氏

ブラジル出身のスイーツシェフ。26 歳。
17 歳で、修行のためオーストラリアに渡航。その後、「世界のベストレストラン 50」でトップに選ばれたレストラン・ノーマ (Noma) やパティシエ界の名門ルコンドnbrルー (LCB) で 2 年間パティシエと料理のスキルを学んだ。



2013 年に、食材が食べ物へと変わる家庭を科学的に知りたいという意思から食科学大学に入学。
今回の滞在では、石川県の特徴の一つである発酵食品について、特に深く学びたいと思っている。

ヨニ・ニムロッド (Yoni Nimrod) 氏

イスラエル出身のフードジャーナリスト、31 歳。
米国フィラデルフィアを拠点に料理人としてニューヨークやワシントン DC のいくつかのレストランで修行。
その中で、食べ物が生活に与える大きな影響に魅力を感じ、フードジャーナリストとしての仕事をスタート。



2013 年に、食へのより深い理解と広い視野を得たいとの思いから食科学大学に入学。入学後は、学習の傍ら、持続可能な食生活や地元食材について教育的な観点から写真やドキュメンタリーの制作を行っている。
今回の滞在でも、日本の食文化を世界に伝えるドキュメンタリーを制作したいと考えている。